

welcome!

## 町長室

第1回

## 町長就任

## 一年を

## 振り返って



住民の皆さま、こんにちは。昨年4月末日に就任し、早いもので1年が経過しようとしています。私にとって、この1年間は駆け足で過ぎ去りました。

「新しい高森町へ6つの挑戦」を元に、将来への明確なビジョンと積極的な情報の公開、政策実現のためのリーダーシップを胸に、将来の子どもたちに「誇れる高森町」の実現を目指し、しっかりと5年後、10年後、20年後と先を見据えた行政運営の基礎作りの方向性を示せた1年であったと思います。

就任後、様々な問題・課題を引き継ぎ、諸問題を整理・処理する中で素直に思ったことは「これからの高森町にとっての最大の課題点は何？」であります。その答えは明白でした。すなわち、住民の方が本当のことを知らないことが多く、憶測（想像）・中傷レベルの話により混乱を招いている事が多いこと、要は情報公開が全く進んでないことでした。

町長となる前も「高森町は情報公開が問題だなあ」と思っていました。現実には個人的な印象レベルとはかけ離れている「情報公開不足・説明不足・わかりにくさ」を痛感しております。

やはり、問題解決には「いかに情報を住民に伝えるか?」、つまり情報公開を徹底することであるという答えしか出てきません。

このことは単にパフォーマンス的に言っているのではなく、行政運営を行うにあたって「的確に・わかりやすく・スピード感をもって」情報を伝える制度設計に取り組み、住民の協力を得ることこそが、この財政難（お金が不足すること）の時代、さらに過去の諸問題・課題を乗り切ることになると考えるからです。

町行政としては私が町長に就任して以来、可能なかぎりに情報公開をしています。（まだ制度不足の箇所も多数あり）

また、予算の執行状況や入札関係、交際費等々、あらゆる場面において必要以上の申請書なしに情報を公開するようになってきていることはご存知のことと思います。

今後、住民は、国会のことはテレビや新聞で知っているが、自分達が住む町の運営については関係者のほかは知らないことが多い」と注意をうけないように情報公開を進めていく所存であります。

また、先日、議会では就任後の初めてとなる「1年を通じての予算編成」を提示し、議会に承認いただきました。（詳細は今後の広報等々を通じて公開いたします）

財政健全化の方策を端的に言つと、「無駄は省く」・「金利が高い借金から前倒しで減らす」・

「今後、補助金の見直しが出来た環境設定を行う」ことを通じて、行政をスリムな体質にすると

いうことです。

私が就任後の1年間の結果は「借金を約3億9千万円減らし、貯金を約3億1千万増加」しました。しかし、単に「借金を減らす、貯金を増やす」だけではなく、投資するところは投資する。メリハリが効いた財政運営を行うことを心がけて行きたいと考えます。

メリハリが効いた財政運営の大きな方向付けとして「人づくり」地域づくりであり、「ハード事業からソフト事業への転換」に軸足を移していきます。

住民の方々の生活の水準を上げるべく、農業、商業、工業、観光業、その他すべての分野にわたって景気の浮揚を図っていく、特に柔軟かつ機動的な行政運営を行うため政策推進課を設置したことにより、企業誘致のみならず、会議、スポーツ大会、イベント等の誘致、物産の販売促進など、多角的な視点や時代に合った斬新なアイデア等を取り入れながら町政運営にあたっていきます。

徐々に暖かくなり春を感じる日があるかと思えば、一転して冬の寒さに戻る日もあります。町内のあちこちで春を告げる花が咲き始めました。これから情報公開に努め、気持ちよく生活できる高森町にしたい、なりたいものです。

平成24年度も将来の子どもたちに「誇れる高森町」を!!のテーマもと、駆け足の1年になりそうです。が全力で頑張ります。

熊本県高森町

町長 草村 大成